

## プロフェッショナル・ステージ

### 運用報告書(全体版)

第8期(決算日 2015年6月12日)

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。  
「プロフェッショナル・ステージ」は、2015年6月12日に第8期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

#### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2007年7月31日から2017年6月12日までです。
運用方針	主として投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券(振替投資信託受益権を含みます。)および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)の一部、またはすべてに分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	投資信託証券を主要投資対象とします。 ※詳細は次ページをご覧ください。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<440892>

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## ●主要運用対象

(2015年6月12日現在)

資産カテゴリー	資産クラス	投資対象とする投資信託証券
株式	日本株式	上場インデックスファンドTOPIX 日興AMジャパン・インサイト・ファンド クラスA
	先進国株式	iシェアーズ グローバル公益事業 ETF SPDR ダウ工業株平均 ETF iシェアーズ・コア S&P 500 ETF iシェアーズ ラッセル 2000 ETF iシェアーズ ラッセル 1000 グロース ETF iシェアーズ ラッセル 1000 バリュエー ETF iシェアーズ ラッセル ミッドキャップ ETF 公益事業セレクト・セクターSPDRファンド 生活必需品セレクト・セクターSPDRファンド パワーシェアーズ・キューキューキュー・トラスト・シリーズ1 iシェアーズ ヨーロッパ ETF 上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSA1)
	新興国株式	JPMエマージング株式ファンドF(適格機関投資家専用) iシェアーズ MSCI エマージング・マーケット ETF 上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング) 日興AMアジア・パシフィック・ファンド(除く日本) クラスA
債券	日本債券	日本短期債券マスターファンド(適格機関投資家向け)
	先進国債券	SPDR バークレイズ・インターナショナル・トレジャリー・ボンド ETF iシェアーズ・コア 米国総合債券市場 ETF iシェアーズ 米国国債 7-10年 ETF iシェアーズ 米国国債 1-3年 ETF iシェアーズ 米国物価連動国債 ETF 上場インデックスファンド海外債券(Git i WGBI)毎月分配型
	先進国ハイイールド債券	iシェアーズ iBoxx 米ドル建てハイイールド社債 ETF
	新興国債券	スタンディッシュ・メロン世界新興国ソブリン・ファンド(適格機関投資家限定) マーケット・ベクトル新興国債券(現地通貨建て)ETF iシェアーズ JPMオルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券 ETF
実物資産	世界REIT(不動産投信)	世界REITマザーファンド
	コモディティ(商品)	iシェアーズ グローバル・エネルギー ETF iシェアーズ S&P GSCIコモディティ・インデックス・トラスト ナチュラル・リソース・ファンド ブラジルリアル・クラス ナチュラル・リソース・ファンド 南アフリカランド・クラス ナチュラル・リソース・ファンド オーストラリアドル・クラス ナチュラル・リソース・ファンド 日本円・クラス ナチュラル・リソース・ファンド 米ドル・クラス
	インフラ(社会基盤)	世界インフラ株マザーファンド iシェアーズ グローバル・インフラ ETF
	ウォーター(水資源)	SAM ウォーター ファンド パワーシェアーズ・ウォーター・リソース・ポートフォリオ
株式 債券 実物資産	日本株式 先進国株式 新興国株式 日本債券 先進国債券 先進国ハイイールド債券 新興国債券 世界REIT(不動産投信) コモディティ(商品) インフラ(社会基盤)	日興AMグローバル・マルチ・アセット・ファンド クラスP
アルファ戦略	アルファ戦略	GDAASTラテジーファンド クラスB

※各投資信託証券については、収益機会の追求やリスク分散などを目的として、随時見直しを行いません。この際、定性評価や定量評価などを勘案のうえ、新たに投資信託証券を指定したり、既に指定されていた投資信託証券を外したりする場合があります。

## Contents

◇ プロフェッショナル・ステージ ..... 1

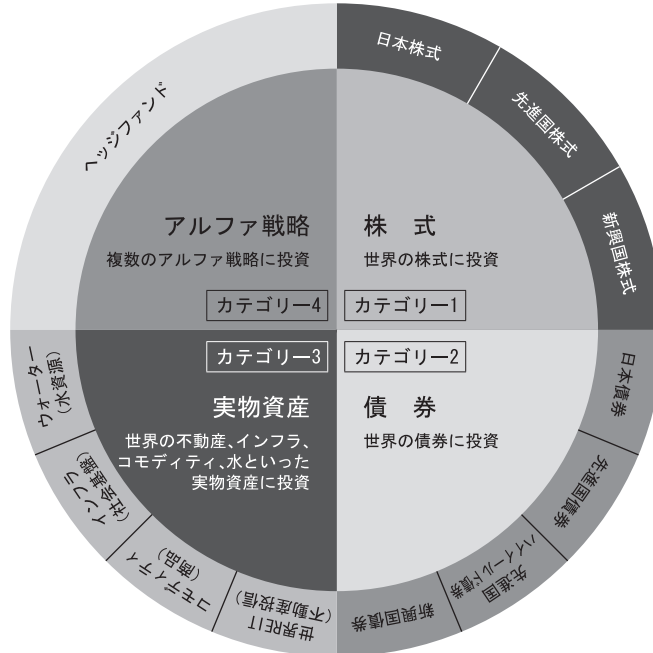
(ご参考) 投資対象先の直近の内容

◆ 日興AMグローバル・マルチ・アセット・ファンド クラスP ..... 15

◆ GDA Aストラテジーファンド クラスB ..... 16

ファンド概要

- ・世界中の投資対象を4つの資産カテゴリー「株式」、「債券」、「実物資産」、「アルファ戦略」に分け、国際分散投資を行ないます。



※各資産カテゴリーおよび各資産クラスの配分は、市場環境などに鑑みて随時見直しを行ないます。

※上図はイメージであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

※「実物資産」、「アルファ戦略」の資産カテゴリーとして、株式や債券に投資する場合があります。

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ<sup>※</sup>で運用を行ないます。

※ファンド・オブ・ファンズとは、複数の投資信託を組み合わせ、一つのファンドとみなした投資信託のことをいいます。

日興アセットマネジメントでは、本資料の他に当ファンドに関する情報等を別途開示している場合がございます。詳しくは、当社ホームページ(<http://www.nikkoam.com/>)またはお取引先の窓口までお問い合わせください。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 証券組入比率	純資産 産額
		税 分	込 配	み 騰 落 率				
	円		円	%	%	%	%	百万円
4期(2011年6月13日)	7,260		0	△ 2.9	4.6	—	74.3	4,488
5期(2012年6月12日)	6,672		0	△ 8.1	0.0	—	88.9	3,696
6期(2013年6月12日)	8,487		0	27.2	1.7	—	96.1	4,237
7期(2014年6月12日)	9,252		0	9.0	3.9	—	94.5	3,896
8期(2015年6月12日)	10,222		0	10.5	—	—	97.7	3,197

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

(注) ファンドの商品性格に適合する、適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準 価額	騰 落 率	株式 組入比率	投資信託 証券組入比率
(期首)	円	%	%	%
2014年6月12日	9,252	—	3.9	94.5
6月末	9,270	0.2	3.9	94.5
7月末	9,344	1.0	4.4	92.5
8月末	9,376	1.3	4.4	93.0
9月末	9,451	2.2	4.3	94.0
10月末	9,530	3.0	3.5	93.9
11月末	10,189	10.1	3.6	95.0
12月末	10,140	9.6	4.4	93.2
2015年1月末	10,020	8.3	4.5	93.0
2月末	10,236	10.6	4.4	93.6
3月末	10,151	9.7	—	97.6
4月末	10,160	9.8	—	97.7
5月末	10,459	13.0	—	95.4
(期末)				
2015年6月12日	10,222	10.5	—	97.7

(注) 騰落率は期首比です。

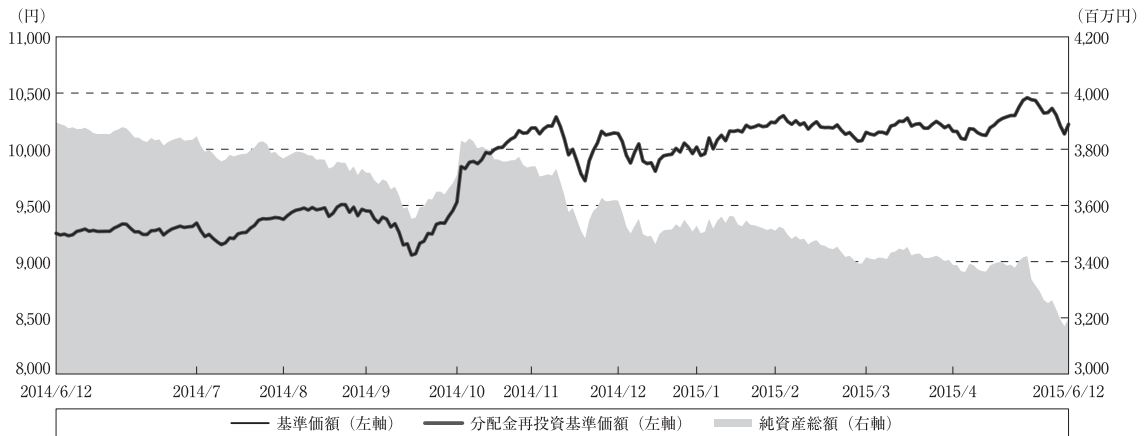
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

(2014年6月13日～2015年6月12日)

## 期中の基準価額等の推移



期首：9,252円

期末：10,222円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：10.5%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2014年6月12日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の推移

期首9,252円の基準価額は、期末に10,222円となり、騰落率は+10.5%となりました。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、投資信託証券への投資を通じて、「株式」「債券」「実物資産」「アルファ戦略」の4つの資産カテゴリーに分けた世界中の投資対象に分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。期中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・日本株式、先進国株式への配分。
- ・世界REITなどの実物資産への配分。
- ・円安の進行。
- ・日本債券、先進国債券、新興国債券への配分。

### <値下がり要因>

- ・新興国株式への配分。
- ・アルファ戦略への配分。
- ・コモディティへの配分。

## 投資環境

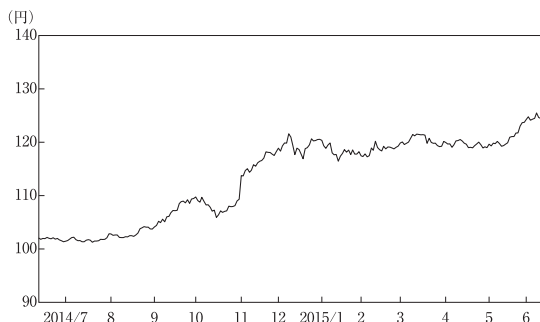
### (投資対象資産の市況概況)

期中の世界の株式やREIT（上場不動産投資信託）の価格は上昇しました。ウクライナ情勢や中東情勢の緊迫化などが下落要因となったものの、米国の市場予想を上回る内容の経済指標の発表を受けて市場は上昇しました。2014年秋口には、日本や中国の中央銀行による金融緩和の決定、欧州中央銀行（ECB）による量的金融緩和策の導入への期待などから、市場は大幅に上昇しました。12月上旬以降は、米国の市場予想を上回る内容の雇用統計の発表を受けた早期の利上げ開始懸念や、ギリシャの信用懸念の再燃、原油価格の急落などを背景に市場は下落する局面があった一方で、米国連邦公開市場委員会（FOMC）の声明内容などを受けた米国連邦準備制度理事会（FRB）による低金利政策の長期継続への期待や、ギリシャ金融支援策の延長合意などから市場は上昇する局面もあり、大きくもみ合いました。一方、10年国債の利回りは、米国の利上げ観測が徐々に高まるなか、地政学的リスクの高まりや原油価格の急落を受けて米国、ドイツ、日本ともに期の前半に大きく低下しましたが、期の後半は、原油価格の底打ちを背景にユーロ圏のデフレ観測の後退からドイツ国債利回りが急上昇したことが、世界の債券利回りを上昇させました。外国為替では、2014年秋口の日銀による追加の金融緩和の決定や日本の公的年金による外国資産の構成比率引き上げの発表などを受けた円売り観測、米国における2015年中の利上げ開始観測を受けたアメリカドル買い需要などから、円安/アメリカドル高が大幅に進行しました。

### (為替市況)

期中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

円/アメリカドルの推移



円/ユーロの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

### (当ファンド)

日興アセットマネジメントの海外現地法人からの投資助言を受け、資産クラスの見直しおよび資産配分比率の調整を行ないました。期末時点においては、「株式」「債券」「実物資産」への配分については、投資対象とする投資信託証券の中から「日興AMグローバル・マルチ・アセット・ファンド クラスP」を選択し、「アルファ戦略」への配分については「GDAAストラテジーファンド クラスB」へ投資を行なっております。期末時点における各投資信託証券の組入比率は以下の通りとなっております。

資産カテゴリー	投資信託証券	組入比率
株式・債券・実物資産	日興AMグローバル・マルチ・アセット・ファンド クラスP	75.6%
アルファ戦略	GDAAストラテジーファンド クラスB	22.2%

### (株式・債券・実物資産の運用)

当期は、量的金融緩和策の縮小開始の影響を踏まえ、リスク回避的な運用姿勢に切り替え、中立からやや慎重なスタンスの投資ポジションに変更し運用を行ないました。2015年3月に、より長期的な視点でのリスク調整後ベースのリターンが高まるような運用スタンスにシフトしました。株式ではヨーロッパ全体からドイツと英国により重点を移しました。また、日本よりもアジア株式のウェイトを増やしました。債券のウェイトは増加させ、英国とオーストラリアへの配分を高めました。実物資産のREITとコモディティは魅力度が下がったことからウェイトを引き下げました。

### (アルファ戦略の運用)

アルファ戦略の運用は、主要先進国の通貨および債券を投資対象とし、資産ごとに売り建て・買い建てを組み合わせたポートフォリオを構築することで、市場動向に左右されにくい収益の獲得をめざしました。

ポートフォリオの構築に当たっては、定性的な判断を加味した計量モデルに基づくプロセスとしました。計量モデルが示すシグナルに基づきつつも、機敏にポートフォリオリスクを調整し、増大するボラティリティ（変動性）および中央銀行の政策措置、地政学的イベント、金融市場における様々な出来事がポートフォリオへ与える影響を抑制することをめざしました。

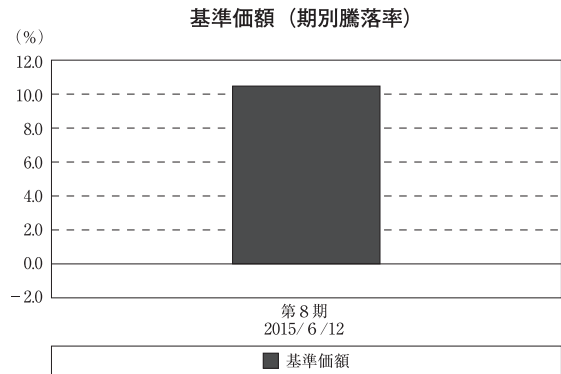
投資家が中央銀行の政策決定や経済指標を市場の方向性を探る手掛かりとするなか、リスクの集中がポートフォリオに与える衝撃を避けることに注力し、リスク・ポジションを慎重に管理しました。



## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

## 分配金

当期における分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、見送りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第8期
	2014年6月13日～ 2015年6月12日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	947

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

---

引き続き、原則として、各投資信託証券を通じて「株式」、「債券」、「実物資産」、「アルファ戦略」の4つの資産カテゴリーに国際分散投資を行ない、安定した信託財産の成長をめざします。また、投資対象とする資産クラスは限定せず、市場環境を考慮したうえ、随時見直しや資産配分比率の調整を行なうことで、収益の拡大を図ります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年 6 月13日～2015年 6 月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 110	% 1.112	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 41 )	( 0.406 )	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 64 )	( 0.652 )	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 5 )	( 0.054 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	8	0.084	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 0 )	( 0.004 )	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 8 )	( 0.080 )	
（リミテッドパートナー（出資金））	( 0 )	( 0.000 )	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.007	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 0 )	( 0.001 )	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 投 資 信 託 証 券 ）	( 1 )	( 0.005 )	
（リミテッドパートナー（出資金））	( 0 )	( 0.000 )	
(d) そ の 他 費 用	10	0.100	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 2 )	( 0.025 )	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 1 )	( 0.005 )	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	( 7 )	( 0.069 )	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	( 0.001 )	その他は、外貨に係る税金
合 計	129	1.303	
期中の平均基準価額は、9,860円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

## ○売買及び取引の状況

(2014年6月13日～2015年6月12日)

## 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	SAM ウォーター ファンド	千口 150,997	千円 151,000	千口 189,851	千円 207,671
	ナチュラル・リソース・ファンド ブラジルリアル・クラス	—	—	11,890	3,903
	GDA Aストラテジーファンド クラスB	710,643	715,000	254,471	262,701
	日興AMジャパン・インサイト・ファンド クラスA	—	—	140	139,735
	ナチュラル・リソース・ファンド 米ドル・クラス	—	—	2,547	2,503
	日興AMグローバル・マルチ・アセット・ファンド クラスP	2,578,129	2,580,000	227,788	234,673
	上場インデックスファンドTOPIX	332	437,577	332	487,448
	日本短期債券マスターファンド (適格機関投資家向け)	17,850	18,000	769,281	774,001
合計		3,457,953	3,901,577	1,456,303	2,112,640
外国	アメリカ		千アメリカドル		千アメリカドル
	日興AMアジア・パシフィック・ファンド (除く日本) クラスA	—	—	22	908
	iシェアーズ・コア S&P 500 ETF	4	998	16	3,352
	iシェアーズ・コア 米国総合債券市場 ETF	6	694	28	3,134
	iシェアーズ MSCI エマージング・マーケット ETF	17	735	48	1,979
	iシェアーズ ラッセル 2000 ETF	4	497	7	850
	iシェアーズ iBoxx 米ドル建てハイイールド社債 ETF	5	528	25	2,351
	iシェアーズ S&P GSCIコモディティ・インデックス・トラスト	77	2,418	104	2,175
	iシェアーズ ヨーロッパ ETF	13	567	37	1,636
	iシェアーズ JPMorgan・米ドル建てエマージング・マーケット債券 ETF	2	298	42	4,792
	パワースhareーズ・キューキュー・トラスト・シリーズI	7	770	12	1,285
	SPDR バークレイズ・インターナショナル・トレジャリー・ボンドETF	11	690	29	1,584
小計		150	8,198	375	24,050

(注) 金額は受け渡し代金。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
世界REITマザーファンド		41,031	74,000	441,416	908,189
世界インフラ株マザーファンド		41,266	52,000	194,722	253,968

## ○株式売買比率

(2014年6月13日～2015年6月12日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	世界インフラ株マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	9,334,200千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,541,205千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.09	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○利害関係人との取引状況等

(2014年6月13日～2015年6月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2014年6月13日～2015年6月12日)

区 分	買 付 額 A	うち自己取引 状況B	$\frac{B}{A}$ %	売 付 額 C	うち自己取引 状況D	$\frac{D}{C}$ %

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2014年6月13日～2015年6月12日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2015年6月12日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	期首(前期末)	当期			比率
		口数	口数	評価額	
SAM ウォーター ファンド	千口	千口	千円	%	
ナチュラル・リソース・ファンド ブラジルリアル・クラス	38,854	—	—	—	
GDA Aストラテジーファンド クラスB	11,890	—	—	—	
日興AMジャパン・インサイト・ファンド クラスA	266,313	722,485	708,541	22.2	
ナチュラル・リソース・ファンド 米ドル・クラス	140	—	—	—	
日興AMグローバル・マルチ・アセット・ファンド クラスP	2,547	—	—	—	
日本短期債券マスターファンド(適格機関投資家向け)	—	2,350,341	2,416,151	75.6	
日本短期債券マスターファンド(適格機関投資家向け)	751,431	—	—	—	
合計	1,071,176	3,072,826	3,124,692	97.7	

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

2015年6月12日現在の組入れはございません。

銘柄	柄	期首(前期末)	
		口数	千口
(アメリカ)			千口
日興AMアジア・パシフィック・ファンド(除く日本) クラスA			22
iシェアーズ・コア S&P 500 ETF			11
iシェアーズ・コア 米国総合債券市場 ETF			22
iシェアーズ MSCI エマージング・マーケット ETF			31
iシェアーズ ラッセル 2000 ETF			3
iシェアーズ iBoxx 米ドル建てハイイールド社債 ETF			19
iシェアーズ S&P GSCIコモディティ・インデックス・トラスト			27
iシェアーズ ヨーロッパ ETF			24
iシェアーズ JPMorgan・米ドル建てエマージング・マーケット債券 ETF			39
パワーシェアーズ・キューキューキュー・トラスト・シリーズ1			4
SPDR バークレイズ・インターナショナル・トレジャリー・ボンド ETF			17
合計			224

## 親投資信託残高

2015年6月12日現在の組入れはございません。

銘柄	柄	期首(前期末)	
		口数	千口
世界REITマザーファンド			400,385
世界インフラ株マザーファンド			153,456

## ○投資信託財産の構成

(2015年6月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 708,541	% 21.9
投資証券	2,416,151	74.8
コール・ローン等、その他	104,045	3.3
投資信託財産総額	3,228,737	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年6月12日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,228,737,848
コール・ローン等	104,045,176
投資信託受益証券(評価額)	708,541,315
投資証券(評価額)	2,416,151,189
未収利息	168
(B) 負債	31,320,372
未払解約金	8,374,531
未払信託報酬	20,353,796
その他未払費用	2,592,045
(C) 純資産総額(A-B)	3,197,417,476
元本	3,127,851,406
次期繰越損益金	69,566,070
(D) 受益権総口数	3,127,851,406口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,222円

(注) 当ファンドの期首元本額は4,211,100,263円、期中追加設定元本額は11,220,015円、期中一部解約元本額は1,094,468,872円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.0222円です。

## ○損益の状況 (2014年6月13日～2015年6月12日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	30,682,395
受取配当金	30,672,224
受取利息	10,171
(B) 有価証券売買損益	318,322,258
売買益	571,038,852
売買損	△252,716,594
(C) 信託報酬等	△47,261,251
(D) 当期損益金(A+B+C)	301,743,402
(E) 前期繰越損益金	△203,381,483
(F) 追加信託差損益金	△28,795,849
(配当等相当額)	(1,697,770)
(売買損益相当額)	(△30,493,619)
(G) 計(D+E+F)	69,566,070
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	69,566,070
追加信託差損益金	△28,795,849
(配当等相当額)	(1,700,195)
(売買損益相当額)	(△30,496,044)
分配準備積立金	294,546,184
繰越損益金	△196,184,265

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2014年6月13日～2015年6月12日の期間に当ファンドが負担した費用は1,943,475円です。

(注) 分配金の計算過程(2014年6月13日～2015年6月12日)は以下の通りです。

項 目	2014年6月13日～ 2015年6月12日
a. 配当等収益(経費控除後)	37,296,362円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,700,195円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	257,249,822円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	296,246,379円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	947円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。



## ○お知らせ

### 約款変更について

2014年6月13日から2015年6月12日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、投資対象とする投資信託証券の名称が変更となりましたので、2014年9月13日付にて信託約款の付表に所要の変更を行ないました。(付表)
- 当ファンドについて、投資対象とする「世界REITマザーファンド」において、運用指図権限の委託に係る報酬の見直しを行なったため、その報酬体系につき、当該マザーファンドの純資産総額が100億円以下の部分は年10,000分の55、100億円超500億円以下の部分は年10,000分の50、500億円超1,000億円以下の部分は年10,000分の40、1,000億円超の部分は年10,000分の36.5との記載に変更するべく、2014年10月4日付にて信託約款に所要の変更を行ないました。(第34条)
- 当ファンドについて、2013年6月に改正された金融商品取引法および投資信託及び投資法人に関する法律ならびにこれに関連する政令・内閣府令が2014年12月1日に施行されたため、改正後の法令に対応させるべく、2014年12月1日付にて信託約款に所要の変更を行ないました。(第49条の2)
- 当ファンドについて、2015年3月13日付にて信託約款に所要の変更を行ないました。
  - ①投資対象とする投資信託証券の見直しを行ない、「日興AMグローバル・マルチ・アセット・ファンド クラスP」を追加する一方で、「モルガン・スタンレー・グローバル・ハイ・イールド・ファンド F (適格機関投資家専用)」を削除しました。
  - ②信託報酬率を年10,000分の12(税抜)引き下げて、総額を年10,000分の103(税抜)に変更いたしました。(第34条、付表)

### その他の変更について

当ファンドにおいて、2015年3月13日付けにて以下の変更を行ないました。

- ①信託報酬の総額を年万分の12(税抜)引き下げたことに伴ない、委託会社への配分について、純資産総額が100億円以下の部分は年万分の38、100億円超200億円以下の部分は年万分の33、200億円超の部分は年万分の28に変更いたしました。
- ②投資対象ファンドの報酬も加えた実質的な負担についても、「純資産総額に対し年率1.37%~1.85%程度」に引き下げました。
- ③当ファンドが投資対象とする投資信託証券の組入比率について、「日興アセットマネジメントアメリカズ・インク」より投資助言を受けておりますが、グループ内の運用体制の見直しを行ない、2015年3月13日付けにて「日興アセットマネジメント アジア リミテッド」(NAMアジア)と投資顧問契約を締結し、NAMアジアより当該投資助言を受けております。なお、このたびの運用体制変更後も、これまでの運用方針を継続してまいります。

## ご参考

「資産、負債、元本及び基準価額の状況」および「損益の状況」に記載している一般的な項目についての説明。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項	目	説	明
(A)	資産	ファンドの有する財産の合計額	
	コール・ローン等	金融機関向けの短期貸付資金や短期金融商品等の残高	
	各有価証券等(評価額)	株や債券、ファンド等の有価証券等の評価額	
	未収入金	入金予定の有価証券の売却代金等	
	未取配当金	入金予定の株式等の配当金	
	未取利息	入金予定の債券等の利息	
(B)	負債	支払い予定額の合計	
	未払金	支払い予定の有価証券の買付代金等	
	未払収益分配金	支払い予定の収益分配金	
	未払信託報酬	支払い予定の信託報酬の金額	
(C)	純資産総額(A-B)	ファンド全体の評価金額	
	元本	ファンドの元本部分の残高	
	次期繰越損益金	純資産総額と元本残高との差額で、翌期に繰越す損益金の合計額	
(D)	受益権総口数	受益者の保有総口数	
	1(万)口当たり基準価額(C÷D)	ファンドの単位当たりの時価	

## ○損益の状況

項	目	説	明
(A)	配当等収益	ファンドが直接受け取った配当金や利息等の合計	
	受取配当金	ファンドが直接受け取った株式等の配当金の合計	
	受取利息	ファンドが直接受け取ったコール・ローンや債券等の利息の合計	
(B)	有価証券売買損益	有価証券売買時の損益と評価損益の合計	
	売買益	各有価証券の売買益と期末評価益の合計	
	売買損	各有価証券の売買損と期末評価損の合計	
(C)	信託報酬等	信託報酬や保管費用等のファンドの経費	
(D)	当期損益金(A+B+C)	当期における収支合計	
(E)	前期繰越損益金	前期分の繰越損益金と分配準備積立金の合計から当期中の解約で発生する取り崩し分を控除した金額	
(F)	追加信託差損益金	受益者がファンドに新規に払込んだ金額とファンドの元本との差額(基準価額と単位当たり元本との差額)を調整した金額	
	(配当等相当額)	(配当等に相当する額)	
	(売買損益相当額)	(売買損益に相当する額)	
(G)	計(D+E+F)	期中の収支の総合計額	
(H)	収益分配金	収益分配金の合計額	
	次期繰越損益金(G+H)	翌期に繰り越す損益金の合計額(期中の収支の総合計額から収益分配金の金額を引いたもの)	
	追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金	
	(配当等相当額)	(配当等に相当する額)	
	(売買損益相当額)	(売買損益に相当する額)	
	分配準備積立金	分配金を支払うための準備積立金	
	繰越損益金	繰越損益の合計金額	

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	日興AMグローバル・マルチ・アセット・ファンド クラスP	
	ルクセンブルグ籍外国投資法人	
<b>運用の基本方針</b>		
基本方針	中長期的なトータルリターンを最大化を目指します。	
主な投資対象	世界の株式や債券を主要投資対象とします。また、通貨、REITおよびコモディティ関連のデリバティブ取引等にも投資します。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市況動向の変化に応じて、各アセットクラスへの投資配分を変更します。</li> <li>・ 通常、様々な国、業種、市場セクターに投資します。(新興国にも投資します。)</li> <li>・ 上記に加え、レバティブバリュー戦略を用いることがあります。</li> </ul>	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 純資産の5%を超えてUCITSやその他UCIs (ETFを除きます。)への投資は行ないません。</li> <li>・ 純資産の20%を超えて一銘柄のETF (その他UCIsに限ります。)への投資は行ないません。</li> <li>・ 純資産の30%を超えてETF (その他UCIsに限ります。)への投資は行ないません。</li> <li>・ 同一のUCITSもしくはその他UCIsの発行済み持ち分の20%を超えて投資は行ないません。</li> <li>・ 借入れ額は、純資産総額の10%以内とします。</li> </ul>	
収益分配	投資主総会もしくは取締役会の決議で収益分配を行なうことがあります。	
<b>ファンドに係る費用</b>		
信託報酬など	純資産総額に対して年率0.15% (国内における消費税等相当額はかかりません。)	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
<b>その他</b>		
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド	
管理会社	日興AMルクセンブルグ・エス・エイ	
信託期間	無期限	
決算日	原則として、毎年12月31日	

種類・項目	G D A A ストラテジーファンド クラス B	
	ケイマン籍円建外国投資信託	
<b>運用の基本方針</b>		
基本方針	ロング・ショート相対価値戦略により、世界の株式市場や債券市場と相関の低い安定的な絶対リターンを獲得することをめざします。	
主な投資対象	O E C D 諸国の債券および通貨を主な投資対象とします。	
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進各国の債券先物取引および外国為替予約取引などを用いたロング・ショート相対価値戦略を採用することで、世界の株式市場や債券市場に対して相関の低いリターンの獲得をめざします。</li> <li>・独自に開発された計量モデルによる分析に、運用チームによる定性分析を加味してポートフォリオを構築します。</li> <li>・外貨建資産に関しては、原則として為替ヘッジを行いません。</li> <li>・ただし、市況動向に急激な変化が生じたときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。</li> </ul>	
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式への投資割合には制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への投資割合に制限を設けません。</li> </ul>	
収益分配	原則として、分配は行ないません。ただし、管理会社の判断により分配を行なう場合もあります。	
<b>ファンドに係る費用</b>		
信託報酬など	純資産総額に対し年率1.65%以内* (国内における消費税等相当額はかかりません。) さらに、当該ファンドの純資産価額(固定報酬控除後、成功報酬控除前)がハイ・ウォーター・マーク(純資産価額の過去の最高値)を上回る場合、その上回る分の20%相当額を成功報酬としてファンドから収受します。 ※この他に、固定報酬として年額8,500米ドルがかかります。	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
<b>その他</b>		
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク	
管理会社	日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド	
信託期間	無期限	
決算日	毎年12月31日	

## G D A A ストラテジーファンド クラスB

**損益計算書**

2013年12月31日に終了した会計期間  
(米ドルで表示)

<b>マスター・ファンドから配分された投資純（損）益</b>	
受取利息	\$ 63,458
監査報酬	(47,022)
その他費用	<u>(7,390)</u>
<b>マスター・ファンドから配分された投資純利益</b>	<u>9,046</u>
<b>フィーダー・ファンドの収益（費用）</b>	
受取利息	237,532
運用報酬	(5,943,284)
管理、保管報酬	(552,595)
監査報酬	(19,360)
受託者報酬	(8,517)
弁護士報酬	(1,748)
その他費用	<u>(4,879)</u>
<b>フィーダー・ファンドの費用純額</b>	<u>(6,292,851)</u>
<b>投資純損失</b>	<u>(6,283,805)</u>
<b>マスター・ファンドから配分された投資、先物および外国為替に係る実現および未実現（損）益</b>	
未実現評価益の純変動額	582,526
実現純損失	<u>(26,684,811)</u>
<b>マスター・ファンドから配分された実現および未実現純損失</b>	<u>(26,102,285)</u>
<b>フィーダー・ファンドの投資および外国為替に係る実現および未実現（損）益</b>	
未実現評価益の純変動額	32,103,088
実現純損失	<u>(116,714,824)</u>
<b>フィーダー・ファンドの実現および未実現純損失</b>	<u>(84,611,736)</u>
<b>運用による純資産の純減少額</b>	<u>\$ (116,997,826)</u>

## G D A A ストラテジーファンド クラスB

**純資産変動計算書**

2013年12月31日に終了した会計期間  
(米ドルで表示)

<b>運用による純資産の変動額</b>	
投資純損失	\$ (6,283,805)
マスター・ファンドから配分された実現および未実現純損失	(26,102,285)
フィーダー・ファンドの実現および未実現純損失	<u>(84,611,736)</u>
運用による純資産の純減少額	<u>(116,997,826)</u>
<b>受益者に対する分配金による純資産の変動額</b>	
クラスCの受益者に対する分配金	<u>(32,853,499)</u>
受益者に対する分配金による純資産の純減少額	<u>(32,853,499)</u>
<b>資本取引による純資産の変動額</b>	
受益証券発行	
クラスB	20,492,874
クラスC	7,871,479
受益証券買戻し	
クラスA	(4,592,295)
クラスB	(52,707,821)
クラスC	<u>(129,712,177)</u>
資本取引による純資産の純減少額	<u>(158,647,940)</u>
<b>純資産の純減少額合計</b>	<b>(308,499,265)</b>
<b>期首純資産</b>	<b><u>554,813,298</u></b>
<b>期末純資産</b>	<b>\$ <u>246,314,033</u></b>

## G D A A ストラテジーファンド クラスB

## 投資明細表

2013年12月31日現在  
(米ドルで表示)

	取得原価	公正価値	純資産に 対する 比率 (%)
<b>国債 - 日本</b>			
利率0%、2014年3月3日満期 (額面¥5,000,000,000)	\$ 48,802,970	\$ 47,567,882	19.31%
利率0%、2014年3月28日満期 (額面¥5,000,000,000)	47,938,734	47,564,732	19.31%
利率0%、2014年4月10日満期 (額面¥5,000,000,000)	<u>50,937,956</u>	<u>47,565,011</u>	19.31%
国債合計	\$ 147,679,660	\$ 142,697,625	57.93%
<b>マスター・ファンド受益証券 - ケイマン諸島</b>			
日興AM - ケイマン・ファンド・セグリゲイテッド・ ポートフォリオ・カンパニー (372,876口)		\$ 61,726,340	25.06%
<b>投資合計</b>		<u>\$ 204,423,965</u>	82.99%
		公正価値	純資産に 対する 比率 (%)
<b>先渡契約 (期日2014年3月17日)</b>			
買い 6,200,000,000円 売り 60,104,601米ドル		\$ (1,092,692)	(0.44%)
先渡契約に係る未実現損失		<u>\$ (1,092,692)</u>	(0.44%)

## 日興AM - ケイマン・ファンド・セグリゲイテッド・ポートフォリオ・カンパニー

## 損益計算書

2013年12月31日に終了した会計期間  
(米ドルで表示)

## 投資収益

受取利息 (プレミアム償却後) \$ 63,458

## 投資収益合計

63,458

## 費用

監査報酬 47,022

その他費用 7,390

## 費用合計

54,412

## 投資純利益

9,046

投資、先物および外国為替取引に係る実現および未実現 (損) 益

未実現評価益の純変動額 582,526

実現純損失 (26,684,811)

投資、先物および外国為替取引に係る実現および未実現純損失

(26,102,285)

運用による純資産の純減少額

\$ (26,093,239)



## 日興AM-ケイマン・ファンド・セグリゲイテッド・ポートフォリオ・カンパニー

## 要約投資明細表

2013年12月31日現在

(米ドルで表示)

	契約数	公正価値	純資産に 対する 比率(%)
<b>先物</b>			
Australia – Australia 10 yr Bond Futures	31	\$ 19,466	0.03%
Japan – Japan 10 yr Bond Futures (TSE)	(97)	711,812	1.15%
Germany – Euro Bund Futures	200	69,024	0.11%
<b>Unrealized gain on future contracts</b>		<b>\$ 800,302</b>	<b>1.29%</b>
United States – US 10yr Note Future	1,067	\$ (1,021,453)	(1.65)%
United Kingdom – Long Gilt Futures	179	(573,618)	(0.93)%
<b>Unrealized loss on future contracts</b>		<b>\$ (1,595,071)</b>	<b>(2.58)%</b>
<b>Net unrealized loss on future contracts</b>		<b>\$ (794,769)</b>	<b>(1.29)%</b>
		<b>公正価値</b>	<b>純資産に 対する 比率(%)</b>
<b>先渡契約(期日2014年1月24日)</b>			
Buy 39,000,000 AUD Sell 34,689,590	USD	\$ 144,405	0.23%
Sell 6,000,000 CAD Buy 5,607,686	USD	35,973	0.06%
Sell 13,000,000 CHF Buy 14,647,262	USD	26,722	0.04%
Buy 4,000,000 CHF Sell 4,480,437	USD	18,190	0.03%
Buy 9,000,000 EUR Sell 12,340,080	USD	61,200	0.10%
Buy 40,000,000 NOK Sell 6,513,550	USD	73,523	0.12%
Buy 40,000,000 SEK Sell 6,086,613	USD	138,758	0.22%
<b>Unrealized gain on forward contracts</b>		<b>\$ 498,771</b>	<b>0.80%</b>

					公正価値	純資産に 対する 比率(%)	
先渡契約(期日2014年1月24日) - 続き							
Buy	19,000,000	CAD	Sell	17,906,923	USD	(35,335)	(0.06)%
Sell	6,000,000	CHF	Buy	6,677,796	USD	(70,146)	(0.11)%
Sell	14,000,000	EUR	Buy	19,151,600	USD	(139,280)	(0.22)%
Sell	10,000,000	GBP	Buy	16,286,060	USD	(273,740)	(0.44)%
Buy	420,000,000	JPY	Sell	4,059,843	USD	(63,347)	(0.10)%
Sell	50,000,000	JPY	Buy	475,407	USD	(366)	(0.01)%
Sell	10,000,000	SEK	Buy	1,524,809	USD	(31,534)	(0.05)%
<b>Unrealized loss on forward contracts</b>					\$	(613,748)	(0.99)%
<b>Net unrealized loss on forward contracts</b>					\$	(114,977)	(0.19)%